

当社の社名「Delta-Fly」は
「Dragonfly（とんぼ）」に由来しています。

決算補足説明資料（2027年3月期 第2四半期）

2026年11月13日

Delta-Fly Pharma株式会社
（東証グロース：4598）

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

2027年3月期 第2四半期決算のサマリー

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

2027年3月期 第2四半期決算のサマリー

Delta-Fly Pharma

研究開発の取り組み	● 開発パイプライン6本のうち、5本が臨床試験中 ● 各パイプラインの特許取得・出願・維持管理等について、選択と集中に取り組んでいます
パイプラインの進捗	● P-3（P-2/3含む）の取り組みとして、DFP-10917単剤、DFP-14323、DFP-17729 ● P-2（P-1/2含む）の取り組みとして、DFP-10917+VEN、DFP-14927、DFP-11207 ● 米国血液学会（ASH）2026年年次総会で2演題の発表を採択（11/4米国東部標準時）
財務活動	● 資本金と資本準備金をその他資本剰余金に振替え、約115億円を繰越利益剰余金に振替え、繰越利益剰余金を増加させ、欠損のてん補を完了（5/15取締役会決議、8/3効力発生） ● 第12回新株予約権及び第3回無担保社債を発行。第3回無担保社債の償還は完了し、第12回新株予約権の権利行使は継続中です。
2027年3月期計画	● 開発パイプラインの臨床試験を着実に進めること ● フェーズの進んでいるパイプラインの導出交渉を進めること ● 財務体質の改善と強化に取り組むこと

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

2027年3月期 第2四半期 パイプラインの状況

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

開発パイプラインの状況

Delta-Fly Pharma

開発品	開発段階	2027年3月期 第2四半期 研究開発の進捗状況
DFP-10917 （点滴静注剤） 急性骨髄性白血病 （再発・難治性）	P-3 試験終了（米国）	DFP-10917単剤療法について、条件付き承認の可能性を含むNDA申請に向けて、米国FDA（食品医薬品局）との協議のためのデータ等資料の準備を進めております
	P-1/2 試験中 VEN併用（米国）	二次治療AML患者を対象とした臨床第3相試験の実施に向けて、症例のフォローアップ及び米国FDAとの臨床第2相試験終了時相談（End of Phase 2 Meeting）のためのデータ等資料の準備を進めております
	P-1 試験中（日本）	日本新薬が実施する臨床第1相試験の症例登録が完了
DFP-14323 （経口剤） 末期の肺がん	P-3 試験中（日本）	国内約30施設で臨床第3相比較試験の症例登録を継続中
DFP-17729 （経口剤） 末期の膵臓がん	P-2/3 試験中（日本）	第2相部分の症例登録が5月に完了し、現在、最終被験者の登録・ランダム化から約6か月間のフォローアップを継続中です。2026年11月末にフォローアップを終了し、OSデータベースロック、2027年1月に中間解析及びDSMBによる独立評価を実施予定。その結果を踏まえ、第3相部分への移行可否及び必要症例数を決定します。第3相部分へ移行する場合は、症例登録を再開する計画です
DFP-11207 （経口剤） 胆道がん	医師主導治験 P-1/2試験中（日本）	被検者登録を継続中

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

研究開発の後発事象について（2026年10月1日～11月12日）

Delta-Fly Pharma

米国血液学会（ASH）2026年年次総会で2演題の発表が採択（11/4米国東部標準時）

DFP-10917臨床第3相試験

演題名：急性骨髄性白血病（AML）の2次、3次または4次救援療法を受ける患者を対象とした、DFP-10917と治験担当医師が選択した非強力または強力再寛解導入療法を比較する無作為化臨床第3相試験

セッション：急性骨髄性白血病：治験薬および細胞療法
：Poster Ⅰ

発表日時：**2026年12月12日 17:30～19:30**

URL:
https://onlineprogram.hematology.org/paper-details.aspx?pid=682760

DFP-10917＋ベネトクラクス併用臨床第1／2相試験

演題名：再発または難治性急性骨髄性白血病（AML）患者を対象としたDFP-10917とベネトクラクスの併用による臨床第1／2相試験

セッション：616. 急性骨髄性白血病：治験薬および細胞療法
：Poster Ⅲ

発表日時：**2026年12月14日 18:00～20:00**

URL:
https://onlineprogram.hematology.org/paper-details.aspx?pid=682770

ASH 2026年年次総会は、2026年12月12日から15日まで米国ルイジアナ州ニューオーリンズで開催される、血液学分野における世界有数の国際学会です。
今回のASH 2026における2演題の採択は、DFP-10917の単剤療法およびベネトクラクスとの併用療法について、これまでに得られた臨床開発データを国際的な血液学研究コミュニティに発信する重要な機会となります。
当社は、DFP-10917の臨床開発を引き続き推進し、再発または難治性急性骨髄性白血病（R/R AML）患者に対する新たな治療選択肢の提供を目指してまいります。

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

2027年3月期 第2四半期決算概要と2027年3月期予想・計画

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

損益計算書

事業収益の計上はなく、事業費用については主にDFP-10917関連の研究開発費※1、DFP-14323及びDFP-17729の症例登録増加に伴う研究開発費※2です。全体としては概ね予想どおりに推移しました。

（単位:百万円）

	2027年3月期 2Q実績(a)	2026年3月期 2Q実績(b)	増減(a-b)
事業収益	―	―	―
事業費用	795	831	△ 36
研究開発費	694	697	△ 3
一般管理費	101	133	△ 32
営業利益	△795	△831	36
経常利益	△801	△840	39
当期純利益	△802	△841	39

※1 ① DFP-10917＋VEN　併用療法の臨床開発費用
② DFP-10917単剤　サブグループ解析・試験整理等

※2 ① DFP-14323　臨床開発費用
② DFP-17729　臨床開発費用

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

貸借対照表

第12回新株予約権の行使等により現預金が増加した一方、研究開発活動の進展に伴い、未払金を中心に債務も増加しています。これらは想定内の計画的な資金調達及び研究開発投資によるものです。

また、ライセンスの導出活動や新株予約権等による資金調達を推進し、財務規律を適切に維持しながら新たな資金確保を進めてまいります。

（単位:百万円）

	2027年3月期 2Q実績(a)	2026年3月期 通期実績(b)	増減(a-b)
流動資産	306	207	99
現金及び預金	257	145	112
その他	49	62	△ 13
固定資産	37	39	△ 2
資産合計	344	246	98
流動負債	334	212	122
負債合計	334	212	122
純資産合計	10	33	△ 23
負債・純資産合計	344	246	98

前期末との比較

●流動資産

第12回新株予約権の行使により現金及び預金が増加しました。

●流動負債

主に未払金の増加によるものです。

これは、研究開発活動の進展に伴う計画的な投資を背景とした、正常な営業債務の増加です。

●純資産

欠損填補に伴う資本金及び資本準備金の減少・振替を実施したほか、第12回新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金が増加しました。また、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少しました。

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

(単位:百万円)

	2027年3月期 2Q実績(a)	2027年3月期 予想 (b)	予算進捗率 (a/b)
事業収益	―	―	―
事業費用	795	1,330	60%
研究開発費	694	1,070	65%
一般管理費	101	260	39%
営業利益	△795	△1,330	60%
経常利益	△801	△1,340	60%
当期純利益	△802	△1,350	59%

今後の見通し

●事業収益

ライセンス導出に向けた活動を継続しているものの、交渉タイミング及び開発進捗の不確実性を考慮し、現時点では収益を織り込まない計画です。

●事業費用

第2四半期累計期間の事業費用は795百万円となり、通期予想1,330百万円に対する進捗率は60%となっています。今後は一部治験の完了に伴い、研究開発費の減少を見込む一方、重要パイプラインへの投資は継続する予定です。

●主な研究開発計画

- DFP-10917+VEN併用:臨床第1/2相試験のフォローアップ、FDAとの第2相試験終了時相談及び第3相試験開始に向けた準備。
- DFP-10917単剤:FDAとの条件付き承認申請の可能性を含めた協議準備。
- DFP-14323:国内における臨床第3相試験(大規模比較試験)を継続する予定。
- DFP-17729:国内における臨床第2/3相試験の第2相部分が症例登録が完了し、現在、フォローアップを継続中。
  2027年1月の中間解析及びDSMB評価を踏まえ、第3相部分への移行可否を判断する予定。

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

資金調達と財務状況

第2四半期の状況（2026年7月1日～9月30日）

第12回新株予約権の権利行使により、研究開発費等に充当する資金を確保しており、権利行使は継続中です。
第3回無担保社債は、全額（1.5億円）償還しました。

	当期ファイナンス進捗状況	資金使途（当初の計画）
第12回 新株予約権 及び 第3回 無担保社債	約12.7億円調達の発行決議を実施 （7月22日の発行決議） 約 5.85億円調達　（9月30日現在） 内 無担保社債1.5億円の償還は完了しております	<研究開発費> ①DFP-10917+VEN併用　臨床第1/2相試験及び第3相試験　750百万円 ②DFP-14323　臨床第3相試験　326百万円 ③DFP-11207　胆道がんの医師主導治験　50百万円 ④その他パイプラインの研究開発費、開発体制・管理体制の強化（報酬・人件費等）特許関連費用等（登録・年金）　120百万円

後発事象（2026年10月1日～11月12日）

第12回新株予約権の権利行使が進みました。

約 1.20億円調達　（11月12日現在）

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

2027年3月期の導出活動、財務活動の方針に変更はありません

導出活動

開発が進んでいるパイプラインを中心に海外の製薬企業と積極的な交渉を進める

＜導出活動＞

- DFP-10917関連を中心に新たな提携先の獲得
- その他パイプラインの海外提携
- 共同開発も模索

財務活動

研究開発を推進するために、ライセンス導出活動の強化と機動性の高い資金調達を実施する

＜財務活動＞

- 導出活動による研究開発資金の獲得と新たなスポンサーの獲得
- 資金調達スキームを検討し、機動性の高い資金調達活動を実行

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.

将来見通しに関する注意事項

- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

- 本資料は、当社に関する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来に対する見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の結果が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

- 当社は、法令や証券取引所の規則等により開示が求められる場合を除き、本資料に記載した将来見通しを必ずしも更新・修正するものではありません。

- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

Copyright © 2026 Delta-Fly Pharma, Inc.



IRに関するお問い合わせ先

Delta-Fly Pharma株式会社　東京オフィス
E-mail　info@delta-flypharma.co.jp
URL　https://www.delta-flypharma.co.jp/

Copyright © 2026　Delta-Fly Pharma, Inc.